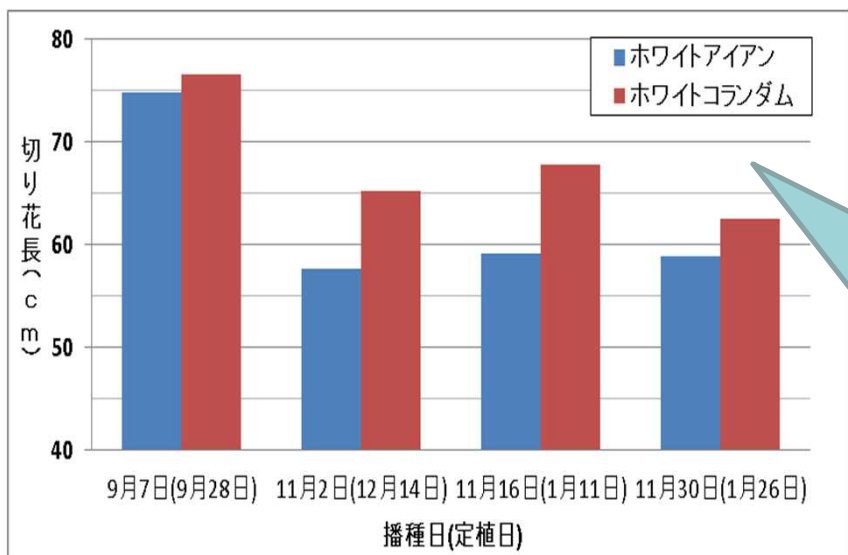


ストック二期作における有望新品種

【背景・目的・成果】淡路地域では、ストックの二期作が行われていますが、既存品種「ホワイトアイアン」は二期作目の作型では、十分に草丈を確保する前に花芽分化の適温に達してしまい、目標とする切り花長を確保できない問題があります。そこで、八重鑑別が不要な新規の無鑑別品種*「ホワイトコランダム」を用いて、二期作に使用する品種としての特性を明らかにしました。



「ホワイトコランダム」は、11月以降の播種では、「ホワイトアイアン」より切り花長が長くなりました。「ホワイトコランダム」は、この時期にも出荷規格の良品となる、60cmの切り花長を確保できました。

播種時期別の切り花長の比較



ホワイトアイアン(左：一重咲き、右：八重咲き)

月	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
11月出荷	▲	●	↓	■						
12月出荷	▲	●	↓	■						
1-2月出荷		▲	●			■				
3月出荷			▲	●				■		
4-5月出荷 (二期作)				▲	●				■	

栽培作型例 (▲: 播種、●: 定植、■: 出荷、↓: ビビフル(開花促進)処理)

無鑑別品種*: 熟練した技術を要する八重鑑別無しに、商品価値の高い八重咲きが80~90%になる品種。鑑別品種では一重咲きと八重咲きが約半数ずつ出現する。

【技術の活用】二期作目(11月播種、1月定植)に使用する品種として、無鑑別で良品規格を確保できる「ホワイトコランダム」の有効性が認められました。